

平成19年度南区実施プラン期末報告

「みんなでみなみパワーアッププラン」

南区では、平成19年度の事務事業の執行にあたり、平成19年4月1日施行の札幌市自治基本条例の趣旨を踏まえ、「平成19年度南区実施プラン」を策定し、取り組みをすすめてきました。

(1) 地域におけるまちづくりの推進

大学と連携したまちづくりの推進

北海道東海大学と札幌市立大学にまちづくりに関する研究を委託した結果、住民や学生が集うコミュニティスペースの開設や、学生が地域と協働で実施するイベントなどが実現し、その内容は学生まちづくりプレゼンテーションでも発表されました。このほか、地域がまちづくり活動にインターンシップの学生を受け入れたり、学生が地域のイベントを支援する際の調整を行うなど、大学と地域の連携促進に努めました。



北海道東海大学との連携により開設された旧道茶屋



札幌市立大学との連携により開催された雪あかりの祭典

シーニックバイウェイ制度を活用したまちづくり活動の支援

南区シーニックバイウェイ検討協議会の設立にあたって関係団体の調整を行うとともに、事務局として、設立後5回行われた会議の開催など活動に対する支援を行いました。また、開催結果など取り組み状況をニュースレター、広報さっぽろ及び南区ホームページなどで区民にお知らせしました。また、地域の見どころなどを巡る「まち歩き」を通じて地域資源の調査を行ったほか、地域資源を生かしたイベントやまちづくり活動に対する支援を行いました。



南区シーニックバイウェイ検討協議会



藻岩アイスキヤンドル

地域まちづくり活動への支援強化

南区地域ふれあい事業助成金などを活用し、地域のまちづくり活動に対する助成を行ったほか、関係機関の連携の推進について支援を行いました。

また、町内会への加入促進に努めるとともに、「南区まちづくり参加・入門教室」を開催するなど、地域のまちづくり活動を担う人材の発掘・育成に努めました。



南区まちづくり参加・入門教室



簾舞歴史資料展

(2) 区民との協働の推進

区民との情報の共有

広報さっぽろをはじめとし、ホームページや掲示板、南区コミュニティエフエムなどを利用して、区の取り組みや制度を随時お知らせしました。情報をわかりやすく提供するため、ホームページのコンテンツ「くま太郎」を活用するなどの工夫をしました。

また、地域の方々の主体的なまちづくりを支援するため、区役所の「まちづくりライブラリー」の充実や地域のホームページや情報誌の発行などを支援しました。

地域美化とみどりのリサイクル運動の推進

職員による庁舎周辺の清掃ボランティア、地下鉄澄川駅前の駐輪場の整理、連合町内会や日赤奉仕団などと協働で行う花植えや清掃などにより地域の美化を図りました。

また、公園の利用促進を目指し、昨年度に引き続き「みどりのリサイクル運動」、「公園まなびのヒント講座」、「公園冬遊びの達人講座」などの展開やエドウィン・ダン記念館と記念公園の一体的利用の促進などを行うと共に、新たに真駒内曙小学校の児童へ落葉の観察や腐葉土の説明を通して、環境教育講座を行ないました。



「落ち葉の会」との腐葉土作成作業

子育て支援と健康な地域づくりの推進

地域の健康づくりを支援するため、保健センターで健康フェアを開催したほか、簾舞・定山溪・藻岩地区でのふれあい交流会等に協力し、健康相談などを実施しました。健康講話や「男子厨房に入ろう！料理教室」を実施したほか、地域で活動している健康づくりグループのネットワーク化を図りました。

子育て支援では、新生児家庭の訪問率向上、藤の沢、藻岩南の子育てサロンの開設支援などを行いました。このほか、地域の育児力向上のため実施している「すくすく子育てミーティング」では、主任児童委員への参加依頼、地域の短大などへの協力依頼をするなどの取り組みを行いました。子育て家庭の地域での孤立化を防止するために、母親教室、フレッシュママ交流会、その他の教室活動でもグループ交流を増やし内容を充実させました。



男子厨房に入ろう!教室



新生児訪問

「雪に負けないサッポロづくり」の推進

昨年度に引き続き、新たに9単位町内会で雪懇談会を実施し、地域との協働による新たな除雪の取り組みを図るとともに、今年度、地域内の公共空地・民間空地を雪置き場として活用しました。

また、コロナボトル（滑り止め用の砂を入れたペットボトル）を1,500本作成し区役所等の施設に配置したほか、小学校に砂袋を配布するなどして、冬季間の滑り止め対策を支援しました。

「地域みんなで子どもを見守る」活動の展開

継続して実施している「地域みんなで子どもを見守る」活動を展開していくために、活動グッズの提供、関係機関の連携強化のための会議やワークショップの企画、「地域安全マップ」づくりを通じた活動者間の情報共有などを支援しました。

また、子どもに関わる事件・事故や不審者等の情報を関係機関や地域に提供するために、連絡会議を開催したほか、情報提供の体制整備を図りました。



石山地区地域安全マップづくり



春の児童見守り運動

地域の自主防災体制の充実強化

地域で行われる自主的防災活動への支援として、D I G（災害図上訓練）に対する職員派遣や防災リーダー研修を行いました。防災リーダー研修については、参加しやすいよう場所や日程を工夫したほか、気象台職員を外部講師として招くなど研修内容の充実を図りました。

また、南区防災訓練にあわせて、コミュニティエフエムと連携し防災関連の特集番組を放送したほか、コミュニティエフエムと災害時の24時間放送に関する覚書を取り交わしたことについて、広報さっぽろ南区版やホームページにより周知を図りました。

(3) 市民の視点に立った職務の遂行

市民対応力の向上

新採用職員を中心に接遇や業務知識などに関する研修を行ったほか、本庁主管部局で実施する研修に積極的に職員を派遣し、職員の能力向上を図りました。この結果、12月に実施した来庁者アンケートで、職員の応接態度が「良かった」「どちらかという良かった」との回答が82.2%を占め、昨年を1.9ポイント上回りました。

また、案内表示の改善やプライバシー配慮の対策など区民が利用しやすい環境の整備にも努めました。

市税及び国民健康保険料の収入率の向上等

公平かつ適正な課税を目指し、納税通知書の送付先調査や未申告者の調査を実施するとともに、休日納付相談や口座振替の促進、滞納整理を通じ、収入率の向上を目指しました。

また、国民健康保険料についても、これまで職員と保険サービス員との連携のもと、訪問・電話催告、窓口等による口座振替の積極的な勧奨、滞納者の財産調査等を行ってきた結果、収納率は19年度3月末納期時点で89.49%と前年度同期比1.32ポイント増となり、10区中1位となっています。

これらについては、南区実施プラン推進会議を開催し、四半期ごとに進捗状況の管理、見直しを行いながら、区職員がそれぞれの役割を担い取り組みを進めてきました。その結果、多くのものについては目標を達成することができました。

新年度も、引き続き、自治基本条例の趣旨を踏まえ、さらなる取り組みを進めていきたいと考えております。

平成20年(2008年)3月31日


南区長 立石 彰

取組内容の詳細


(1) 地域におけるまちづくりの推進

重点取組項目 1： 大学と連携したまちづくりの推進

大学が有する専門的な学術知識を活用し、地域課題の解決などに取り組んでいきます。


取組結果	評価
<p>北海道東海大学から講師の派遣を得て 5 月に健康づくり自主活動グループの研修会を実施し、地域の健康づくりを推進しました。</p> <p>7 月の北海道東海大学ラベンダーコンサートにあわせて「地域づくりフォーラム」を開催し、市長・区長・連合町内会の代表らが出席し、まちづくりについて意見交換を行いました。この取り組みについては広報さっぽろ 9 月号南区版で紹介しました。</p> <p>地域・大学・行政の連携によりまちづくりを推進するための研究を北海道東海大学に委託し、3 月に報告書が提出されました。</p> <p>シーニックバイウェイ制度を活用したまちづくりの研究を札幌市立大学に委託し、3 月に報告書が提出されました。</p> <p>北海道東海大学と連携したまちづくり研究の一環として、区民が気軽にスポーツに参加する機会を創出するため、冬季間の真駒内公園に歩くスキーとウォーキングのコースを開設しました。</p> <p>北海道東海大学と連携したまちづくり研究の一環として、地域情報の発信のため、南区内の各地域で行われる冬の取り組みを、衛星生中継で全国のコミュニティエフエム 40 局に紹介するラジオ番組「なまら札幌、雪あそび」を 2 月に放送しました。また、社会福祉法人この実会の協力を得て、藻岩地区の施設を改修し地域住民や学生が集まるまちづくり拠点として、「コミュニティスペース旧道茶屋」を開設しました。</p>	 順調です

学生たちが地域活動に積極的に参加し、まちづくりを活性化させるための機会をつくります。


取組結果	評価
<p>北海道東海大学の学生がラベンダーまつり、ふれあいサロン等の地域活動に参加しました。</p> <p>北海道東海大学と南沢地区町内会連合会・まちづくり協議会が連携しラベンダーオープンカフェを開設するにあたり、打ち合わせ会議開催等の調整を行いました。</p> <p>北海道東海大学の学生インターンシップの受け入れを行いました。</p> <p>光塩学園女子短期大学に、「すくすく子育てミーティング」の事業への参加協力を依頼しました。</p> <p>北海道文教大学短期大学部に「すくすく子育てミーティング」について説明し、学習の場としての活用を依頼しました。</p> <p>北海商科大学の中国・韓国留学生が、「ラブアースクリーンアップ in 八剣山(不法投棄ごみの清掃活動)」、「簾舞通行屋まつり」に参加し、地域理解を深め、地域住民との交流を図りました。</p> <p>北海商科大学加藤研究室が開催した「2007 八剣山さくらんぼ祭りオープニングイベント」にあたり、広報活動等の支援を行いました。</p> <p>芸術の森地区の「雪あかりの祭典」実施にあたり、札幌市立大学、町内会連合会等との連絡調整を行いました。また、広報さっぽろ 2 月号南区版への掲載、報道機関への情報提供などの広報活動を支援しました。</p> <p>北海道東海大学と連携したまちづくり研究の一環として、社会福祉法人この実会の協力を得て、藻岩地区の施設を改修し地域住民や学生が集まるまちづくり拠点として、「コミュニティスペース旧道茶屋」を開設しました。(再掲)</p> <p>北海道東海大学の学生が運営する「旧道茶屋」と、札幌市立大学の学生が企画し、芸術の森地区の雪あかりの祭典の一環として実施した「ARTOU」について、それぞれの大学より、「学生まちづくりプレゼンテーション大会」で発表がありました。</p>	 順調です

重点取組項目 2： シーニックバイウェイ制度を活用したまちづくり活動の支援


区民のシーニックバイウェイ制度に対する理解を深める機会を創出し、地域資源を活用したまちづくりへの機運を高めます。

取組結果	評価
<p>6 月にまちづくり講演会～シーニックバイウェイによる南区の地域づくり～を開催し、広報さっぽろ 8 月号南区版で紹介しました。</p> <p>9 月から南区シーニックバイウェイ検討協議会を 5 回開催し、その開催結果については、ニュースレターを作成し、関係団体及び区民に配布しました。また、報道機関に情報提供をすることにより、第 1 回、第 2 回の会議の様子が北海道新聞に掲載されました。</p>	 順調です


区民とともに地域資源の再発見を行うとともに、その活用方策を考えます。

取組結果	評価
<p>区内 10 地区において、大学及び町内会の関係者とともに、地域の見どころなどを巡る「まち歩き」を行い、南区の景観資源や観光資源などを調査しました。また、札幌市南区シーニックバイウェイ検討協議会では、この調査結果をもとに、各種資源の活用方策や南区の魅力づくりを検討しています。</p>	 順調です

地域資源を活用した各地区のまちづくり活動を支援し、南区ならではの魅力づくりを図ります。

取組結果	評価
<p>砥山地区で地域農業の活性化を目指して活動する「砥山農業クラブ」が主催する農作業体験事業(砥山農業小学校)の広報活動、講師派遣調整等の支援を行いました。</p> <p>真駒内川改修工事に関して、真駒内川の周辺整備について考えるワークショップを6月に開催し、植栽などの周辺整備、樹木や草花の整備・維持などの運営方法等、美しい景観づくりに向けた意見交換を行いました。</p> <p>芸術の森地区で、美しい町並み形成に向けてフラワーハンギングバスケット植栽事業を行いました。</p> <p>北海道東海大学と南沢地区町内会連合会・まちづくり協議会が連携し、7月に北海道東海大学ラベンダー畑において、区民や観光客に対し、ラベンダーの歴史等の紹介を行ったほか、地元産のはちみつを使った飲み物等を提供するオープンカフェを開設しました。</p> <p>八剣山周辺地域の環境保全と地域活性化に向けて活動を行う八剣山発見隊が開催した「2007 八剣山さくらんぼ祭り」に対して、南区コミュニティエフエムの区広報番組を利用したPR等の支援をしました。</p> <p>八剣山発見隊が20年3月にピリカコタンで開催した「八剣山国際交流の集い」の開催準備に当たり、施設管理者との調整や広報調整等の支援を行いました。</p> <p>札幌市指定有形文化財旧黒岩家住宅と隣接する通行屋緑地で9月に開催された「簾舞通行屋まつり」の開催支援を行い、同施設のPRとふるさと意識の醸成を図りました。</p> <p>簾舞まちづくり検討会「国蝶オオムラサキ保護育成事業分科会」が行うオオムラサキの保護育成活動に対し、市広報番組でのPR、観察会の企画等を支援しました。</p> <p>エドウィン・ダン記念館を会場とした「ミニコンサート」、「お茶会」の開催を支援し、同施設の有効活用と魅力向上を図りました。</p> <p>簾舞地区の総合型地域スポーツクラブと連携し、11月に秋祭り開催中のピリカコタンをノルディックウォーキングで訪ねる行事を企画し、健康づくりを通じた地域住民の交流を図りました。</p> <p>広報さっぽろ2月号南区版で、藻岩山の歴史及び藻岩下連合町内会による清掃活動を紹介しました。</p> <p>1月から2月にかけて澄川、藻岩、石山、芸術の森、定山溪で行われたアイスクャンドルやイルミネーションなどを活用したイベントの開催を支援しました。</p> <p>藤野地区で推進している「花いっぱい運動」の一環として藤野花マップを作成しました。</p> <p>藻岩アイスクャンドルの拡大及びPRを目的に、アイスクャンドルの設置場所や点灯風景を紹介するマップを作成しました。</p>	 順調です

シーニックバイウェイ制度を活用したまちづくりについて、区内の情報共有を図るため、地域間の連携を推進します。


取組結果	評価
<p>札幌市南区シーニックバイウェイ検討協議会の設立に向けて発起人会を開催。その後、区内の各種団体の参加を得て、5回の検討協議会を開催しました。</p> <p>広報さっぽろ10月号南区版で、南区シーニックバイウェイ検討協議会について紹介しました。</p>	 順調です

重点取組項目 3 : 地域まちづくり活動への支援強化


まちづくり活動や各種事業を通して、各種地域活動団体の連携・連帯を図るとともに、まちづくり活動の新たな担い手の発掘や育成を図ります。

取組結果	評価
<p>元気なまちづくり支援事業(南区地域ふれあい事業助成金)を実施し、10 地区 47 事業へ助成を行いました。</p> <p>簾舞地区で、地域緑化の推進、活動の担い手の発掘・育成・参加促進を目的に「花苗づくり講習会」を開催しました。</p> <p>簾舞地区で、地域住民の介護予防と健康づくりの普及啓発、関係支援機関との連携強化を目的に、町連保健環境部と地区福祉のまち推進センター主催、南区地域包括支援センター、南区介護予防センター定山溪、区健康・子ども課、地域振興課、みすまい児童会館後援の新規事業「みすまい健康フェア」の開催を支援しました。</p> <p>簾舞まちづくり検討会「国蝶オオムラサキ保護育成事業分科会」が行うオオムラサキの保護育成活動に対し、市広報番組でのPR、観察会の企画等を支援しました。(再掲)</p> <p>真駒内川改修工事に関して、真駒内川の周辺整備について考えるワークショップを6月に開催し、植栽などの周辺整備、樹木や草花の整備・維持などの運営方法等、美しい景観づくりに向けた意見交換を行いました。(再掲)</p> <p>澄川地区連合会とまちづくりセンターの共催により、「澄川地区3小学校合同児童作品展」を澄川駅前広場で開催しました。</p> <p>広報さっぽろ7月号南区版で、藤野地区町内会連合会及び藻岩下連合町内会の会報が、町内会・自治会広報コンクールで各々最優秀作、佳作に選ばれたことを紹介しました。</p> <p>北海道東海大学と南沢地区町内会連合会・まちづくり協議会が連携シラベンダーオープンカフェを実施するにあたり、打ち合わせ会議開催等の調整を行いました。(再掲)</p> <p>真駒内中学校グラウンドで実施された「防災訓練・交通安全キャンペーン」の開催を支援しました。地域住民、各地域団体、真駒内中、真駒内曙などから1,000人を超える参加者があり、南消防署・南警察署等の指導による訓練が行われました。</p> <p>芸術の森地区で町内各団体と連携を図りながら、児童会館を会場として「もりの仲間の三世代交流会」を開催しました。</p> <p>「もりの仲間のかまおか朝市」の拡大版となる「こまおか秋まつり」の企画・運営を支援しました。</p> <p>定山溪連合町内会の主催による「定山溪ふれあい秋まつり2007」と「第2回エコ収穫祭」の同時開催の企画・運営を支援しました。</p> <p>広報さっぽろ10月号南区版で、交通死亡事故ゼロ3,000日を達成した「南沢地区町内会連合会」に南区交通安全運動推進委員会会長から表彰されたことを紹介しました。</p> <p>芸術の森地区の「雪あかりの祭典」実施にあたり、札幌市立大学と町内会連合会等との連絡調整を行いました。(再掲)</p> <p>平成18年度に引き続き、11月に芸術の森地区町内会連合会と「カッコウの里を語る会」が連携して、不法投棄ゴミ一斉撤去活動を行いました。</p> <p>11月に開催された藻岩地区の健康ふれあい交流会において、健康相談と健康づくり活動グループの紹介をし、地域での健康づくりを支援するとともに、地域との連携を促進しました。</p> <p>南区タウントークにて、真駒内地区違反広告物撤去推進委員会が活動発表を行いました。</p> <p>11月に、定山溪連合町内会等の関係団体が協力して行った、定山溪温泉の錦トンネル付近に不法投棄された廃タイヤなどの廃棄物を撤去する活動を支援しました。</p> <p>18年度に策定した「澄川地域憲章」の普及啓発事業として、策定に関した地域の小中学生や住民の意見を取り入れ、駅前広場にモニュメントを設置しました。</p> <p>簾舞まちづくり検討会「簾舞歴史資料展分科会」が2月に開催した簾舞歴史資料展にあたり、写真パネルの作成、関係機関との調整等を支援しました。</p> <p>1月から2月にかけて澄川、藻岩、石山、芸術の森、定山溪で行われたアイスキャンドルやイルミネーションなどを活用したイベントの開催を支援しました。(再掲)</p> <p>地域住民がまちづくり活動に参加するきっかけ作りとして、2月に「地域のために何かしたい そんな気持ちの第一歩 南区まちづくり参加・入門教室」を開催し、地域住民や地域活動団体等から約180名の参加がありました。</p> <p>地域団体の事務効率化及び情報の発信・交流機能の向上を図ることを目的として、町内会やまちづくり協議会の構成員を対象としたIT講習会を、澄川、藻岩、藤野、簾舞、定山溪の各まちづくりセンターで開催しました。</p>	<p style="text-align: center;">  順調です </p>


地域のまちづくり活動の担い手である町内会の振興を図るため、加入促進に対する支援を行います。

取組結果	評価
コミュニティエフエムを活用し、町内会加入促進のCMを放送しました。 町内会加入促進パンフレットを作成し、各单位町内会に配布しました。	 絶好調

地域課題を協議する場（まちづくり協議会等）の円滑な運営を支援していきます。

取組結果	評価
「簾舞まちづくり検討会」の今後の在り方を協議する会議で、まちづくり協議会の目的と南区内他地域での取り組みなどについて、資料の作成・配布をし、説明を行いました。 「藻岩ふれあいフェスティバル」の開催に向け、まちづくり協議会の運営を支援しました。 北海道東海大学と南沢地区町内会連合会・まちづくり協議会が連携しラベンダーオープンカフェを実施するにあたり、打ち合わせ会議開催等の調整を行いました。（再掲） 南沢市民の森の整備に係るまちづくり協議会の運営を支援しました。 来年度のラベンダーまつり開催に関し、北海道東海大学と南沢地区町内会連合会・まちづくり協議会との打ち合わせ会議開催等の調整を行いました。	 順調です


庁内各部の連携体制をより一層強化することにより、まちづくりセンターの機能強化に努めます。

取組結果	評価
区のホームページで各まちづくりセンターの「地域ニュース」を掲載し活動を広報しました。 地域振興課において、まちづくりセンター所長の協力のもと、まちづくりセンター業務の洗い出しと共通のマニュアル作成に取り組みました。 まちづくりセンター所長の参加する会議において、各種地域福祉施策の紹介を行いました。 保健福祉課、健康・子ども課、地域振興課、社会福祉協議会で、地域福祉連絡会議を開催し、取り組みについての情報交換を行いました。 まちづくりセンターのレイアウトを地域住民が利用しやすくなるように変更しました。 区内10地区で介護予防調整会議を開催し、情報交換を行いました。	 順調です


(2) 区民との協働の推進

重点取組項目1：区民との情報の共有


区のホームページ、地下鉄真駒内駅掲示板、区民センターロビーなどを活用して各種情報を提供します。

取組結果	評価
ホームページの「区役所からのお知らせ」「まちの話題」等により迅速な情報提供に努めました。 ほぼ毎日ホームページの更新を行い、2月末までの月平均訪問数は17,654（前年度+3,500）に増加しました。 地下鉄駅掲示板で定期的に「まちの話題」を掲示し、情報の提供を行いました。 ホームページに南区の歴史を伝える「南区開拓夜話」を掲載しました。 「みなみ区ガイド」を改訂し、増刷しました。	 順調です


区の「ホームページ運営委員会」等で検討し、魅力あるホームページとするとともに、必要な情報を分かりやすく、迅速に掲載します。

取組結果	評価
4月以降ホームページ運営委員において、「区役所利用案内」及び「折々の手続き」の見直しを行い、随時更新を行いました。 ホームページの「今日のくま太郎」で、「選挙」、「税源移譲」、「野菜の日」、「スイーツファンタジー」、「かけ防災パネル展」など、折々の情報を提供しました。また、10月からは、一話ずつまとめて随時掲載する「ときどきくま太郎」として、「シーニックバイウェイ」、「市税の口座振替」、「市の除雪体制」、「子育てサロン」、「民生委員」など、市の取り組みや制度について紹介しました。	 順調です


南区コミュニティエフエムなどの媒体を有効に活用し、区の情報を適宜お知らせします。

取組結果	評価
<p>毎週火曜日の南区コミュニティエフエムの番組で、広報さっぽろの「お知らせ」を紹介しました。また、「税制改正のお知らせ」、「南区タウントークのお知らせ」、「防災訓練について」など区役所の事業や制度、「水道凍結防止について」、「除雪センターの設置について」などの生活に密着した話題などのほか、社会福祉協議会や町内会などからの話題についてお知らせしました。</p> <p>9月から、南区コミュニティエフエムで南区からのお知らせ15秒CMの月10回以上の放送を開始しました。</p> <p>南区防災訓練の実施にあわせて、南区コミュニティエフエムと連携して防災関連の特集番組を放送しました。</p> <p>広報さっぽろ南区版において、「図書館」、「ごみ出しルール」、「南区の農産物」等の特集を組んだほか、事業や施設、地域の取り組みなどについて取材し紹介しました。お知らせや写真館では分かりやすく正確な情報提供に努めました。</p>	 絶好調

まちづくり関係の書籍の貸出を行う「まちづくりライブラリー」を充実するとともに、これを積極的にPRすることにより、区民のまちづくり活動に対する関心を高めたり、地域課題に取り組むきっかけづくりをします。


取組結果	評価
<p>まちづくりライブラリーに、新たに「まちづくり学」、「札幌街並み今・昔」、「町並みまちづくり物語」などの書籍を追加し、内容の充実を図りました。</p> <p>まちづくりライブラリーホームページの改修を行いました。</p>	 順調です

地域のホームページの運営や情報誌の発行など、地域の主体的な情報発信活動を支援します。


取組結果	評価
<p>芸術の森ネットコミュニケーションにおいて、地域ホームページの更新を行いました。</p> <p>真駒内eコミュニケーション、石山ポータルサイトにおいて、地域ホームページの更新を行いました。</p> <p>南区地域ふれあい事業助成金により、真駒内地区、藻岩地区、石山地区、簾舞地区の広報誌発行を支援しました。</p> <p>石山ポータルサイト運営委員会において、運営体制の強化のため地域住民を対象に石山小学校でIT講習会を開催しました。</p>	 順調です

重点取組項目2：地域美化とみどりのリサイクル運動の推進


駐車自転車の整理・整頓と自転車利用者へのマナー啓発を行います。

取組結果	評価
<p>4月から11月の間、澄川駅前広場にて、駐輪場の整理・整頓を行い、駐輪場外にとめてある自転車を移動する際には、注意を喚起する「札付け」を行いました。</p>	 順調です


清掃及び花植えを地域住民と協働で行います。

取組結果	評価
<p>4月から10月まで澄川駅前広場にて、日赤澄川分団と協働で、月1回の清掃を実施しました。また、6月5日、14日には、花苗の植栽も行いました。</p> <p>5月に、連合町内会、小学校、周辺企業等が協働で、地下鉄真駒内駅前及び南区役所周辺の歩道に花植えを実施し、その後の花壇の清掃等については、連合町内会女性部、日赤奉仕団が中心となり維持管理を行いました。</p> <p>広報さっぽろ7月号南区版で、真駒内連合町内会、簾舞団地町内会の花植えを紹介しました。</p> <p>真駒内地区違反広告物撤去推進委員会に国土交通大臣表彰が授与されたことを、広報さっぽろ10月号南区版で紹介しました。</p> <p>藤野野々沢町内会が花壇優良表彰されたことを、広報さっぽろ11月号南区版で紹介しました。</p>	 順調です


区役所職員による清掃ボランティアを引き続き実施します。

取組結果	評価
<p>計 11 回延べ 274 名の職員が参加し、5 月から 11 月の毎月第 1、3 火曜日に南区役所周辺の道路のごみ拾いを行いました。 土木センター周辺の道路のごみ拾いを毎月最終金曜日に実施しました。</p>	<p style="text-align: center;"> 順調です</p>


区民と共に公園の落ち葉で引き続き腐葉土づくりと配布を行ないます。また、新たに落ち葉のリサイクル出前講座と、落ち葉のボランティアグループの立ち上げを行い、ごみの減量化、市民との協働体制を図るなど、みどりのリサイクル運動を本格的に実施します。

取組結果	評価
<p>ボランティアグループ「落ち葉の会」を立ち上げ、堆積落ち葉の切り返し作業を行いました。 5 月に剪定枝・枯損木の市民への無料配布を行いました。 7 月に真駒内曙小学校の児童（4 年生）と校庭に落葉の堆積場を作りました。 地元町内会と協働で、「ときわアートの丘公園」、「みすまい星の子公園」、「西藤野むつみ公園」に落ち葉の堆積場を作りました。また、エドウィン・ダン記念公園内の落ち葉清掃とヤードへの堆積を「落ち葉の会」と協働で行いました。 広報さっぽろ 4 月号南区版で「公園での活動パネル展」の紹介を行いました。 南区タウントークで、真駒内曙小学校、定山溪中学校、明清高校が「学校におけるみどりのまちづくりの取り組み」について活動発表を行いました。 2 月に真駒内曙小学校の児童（3 年生）に落ち葉の観察や腐葉土の説明を通して環境教育を行いました。</p>	<p style="text-align: center;"> 絶好調</p>

公園を利用して地域住民と連携・協働で「公園まなびのヒント講座」「公園冬遊びの達人講座」等を引き続き開催し、拡大・充実を図るとともに、プレイリーダーの育成と、地域活動についても引き続き支援します。


取組結果	評価
<p>「落ち葉の会」と個人 4 名が、維持管理課と住民が行う公園の維持・管理・運営活動の推進に賛同し、札幌市公園ボランティア制度に登録しました。これら団体・個人が主体的に行う公園での活動を支援しました。 6 月に藻岩下公園を考える会(パンダフル)が藻岩下公園で実施した間伐材を利用したプレートづくり・植樹などの活動を支援しました。 藻岩下公園の有効活用を考えるワークショップを開催し、町内会や住民活動団体(パンダフル)の関係者が公園の魅力や整備のあり方について意見交換を行いました。 広報さっぽろ 8 月号南区版で、藻岩下公園で開催された「公園フェスティバル」について紹介しました。 南区タウントークで、藻岩下公園を考える会(パンダフル)が「公園でのまなび・遊びを通じたふれあい」について発表しました。 藻岩下公園を考える会(パンダフル)が藻岩下公園で焼き芋と旗づくり、2 頭目のパンダのお披露目を行いました。 1 月に藻南公園で、指定管理者が自主事業でイグルー作り、雪中パークゴルフなどの冬の活動を行いました。 2 月に藻岩下公園で藻岩下公園を考える会(パンダフル)がイグルー作りなど冬のイベントを行い、物品の貸出などの支援をしました。また、石山緑地で、冬の公園の楽しみ方を中心とした「公園まなびのヒント講座」を、市民・小学生・高校生・指定管理者と協働で開催しました。これらのイベントの実施に先立ち、1 月にコミュニティエフエムで PR を行いました。</p>	<p style="text-align: center;"> 絶好調</p>

エドウィン・ダン記念館と記念公園との一体利用促進の拡大を引き続き実施していきます。


取組結果	評価
<p>エドウィン・ダン記念館運営委員会との協議に基づき、6 月から 11 月まで月 2 回の除草を行いました。 9 月にエドウィン・ダン記念館を連合町内会のミニコンサート、お茶会に開放しました。 南区タウントークにおいて、エドウィン・ダン記念館運営委員会が活動発表を行いました。 3 月にエドウィン・ダン記念館の都市景観賞受賞を記念し、記念館でコンサートを開催しました。</p>	<p style="text-align: center;"> 順調です</p>

重点取組項目 3：子育て支援と健康な地域づくりの推進


他部署やまちづくりセンター、地域の健康づくりグループ、地区役員等と連携し、健康な地域づくりを目指します。

取組結果	評価
<p>地域の健康づくりを支援するため、「認知症」、「白内障」、「薬との付き合い方」、「歯の健康」、「耳が遠くなること」、「不眠症」に関する健康講話を実施しました。</p> <p>健康づくり自主活動グループの連携を支援するため、5月にはネットワーク会の事業計画についての協議、7月には交流事業として2グループの活動発表と体験、9月には合同事業として定山溪地区のウォーキング、2月には情報交換会の開催について協力しました。</p> <p>6月に実施した健康づくりサポーター養成研修の受講者がその後、毎月ウォーキングを継続し、10月の「健康まつり」のウォーキング実行委員として活動しました。</p> <p>男性の食の自立とウォーキングを組み合わせさせた健康づくりのための「男子厨房に入ろう！料理教室」を区民センターや藤野地区センター等で計4回開催しました。</p> <p>9月の簾舞地区の健康フェアにおいて、健康で生き生き生活するための健康講話と健康相談を実施し、地域の健康づくりを支援しました。</p> <p>11月に開催された藻岩地区の健康ふれあい交流会において、健康相談と健康づくり活動グループの紹介をし、地域での健康づくりを支援するとともに、地域との連携を促進しました。(再掲)</p> <p>定山溪連合町内会主催の「定山溪ふれあい秋まつり2007」に協力し、健康相談を実施しました。</p> <p>7月に「やってみよう！介護予防 元気ハツラツ夏祭り」、10月に「みんなでみに区健康まつり」を開催しました。</p> <p>小学校や地区会館おける地域主催の子育て支援広場や児童会館等に出向き、地域の役員・ボランティアと情報交換や健康相談に対応しました。</p>	<p align="center">  順調です </p>

新生児家庭訪問の強化、育児教室等による学習・情報交換、交流の機会の充実等により、食育の推進、虫歯予防、安心・安全な子育て環境など、乳幼児期からの健康づくりを重視し、育児不安への対応を含め、地域の育児力を高める細やかな支援を行います。


取組結果	評価
<p>新生児家庭訪問の全数実施に向け、出産報告提出の漏れがないよう、母子手帳発行時の説明を徹底したほか、出生届時に配布している資料に記載し周知に努めました。</p> <p>乳幼児の健診受診率を高めるため、4ヶ月児、10ヶ月児、1歳半児、3歳児の未受診者の把握、再連絡、家庭訪問等による健診勧奨と状況把握を徹底しました。この結果、受診率が向上しました。</p> <p>7月、9月に地域連携事業の「夏だ！みなみくんまつり」、「秋だ！みなみくんまつり」を子育てボランティア、学生ボランティア、地域住民など多くのボランティアの参加を得て開催しました。</p> <p>9月に札幌市子育て支援推進フォーラムが開催され、南区の藻岩地区中ノ沢町内会子育てふれ合いひろばの取り組みが発表されました。</p> <p>地域の育児力を高めるため、主任児童委員との連携強化を図り、主任児童委員勉強会に参加しました。また、育児不安を持つ親に対するグループミーティングへの地域関係者の参加を促すため、主任児童委員、光塩短期大学、北海道文教大学短期大学に参加・協力依頼をしました。「すくすく子育てミーティング」を計6回実施し、主任児童委員の参加がありました。</p> <p>参加者希望者の増加に対応し、後期離乳期講習会の開催を年3回から4回へ変更しました。</p> <p>フレッシュママ交流会の内容等を充実させ、子育て家庭の孤立化を予防しました。</p> <p>6月に藤の沢小学校に、11月には藻岩南小学校に子育てサロンが開設されました。</p>	<p align="center">  順調です </p>

子育て情報室の環境整備を行うとともに、気軽に来室できるような雰囲気づくりを心がけます。また、地域の行事や子育てに関する情報をきめ細やかに分かりやすく掲示します。


取組結果	評価
<p>広報さっぽろ 7月号南区版で藤の沢小学校での子育てサロン「ことりのむら」開設について紹介しました。また、1月号南区版では藻岩南小学校の子育てサロン「なかよし広場」開設について紹介しました。</p> <p>元気なまちづくり支援事業「リズムっちゃお」、「読み聞かせ講演会」の周知を行いました。</p> <p>保健センターの子育て情報室内に、各地域で行われている子育てサロンの概要(写真、サロンの説明)や、地域連携事業「みなみくんまつり」の様子を常時掲示しました。</p> <p>南区全体の状況がわかるように、地区ごとに作成していた子育てサロンの日程表を統合しました。</p>	<p align="center">  順調です </p>

重点取組項目 4 : 「雪に負けないサッポロづくり」の推進

昨年に引き続き新たな除雪方法の実施についての区民懇談会を開催し、市民と行政の役割や分担等の議論を通じて試行実施し、モデル地区の拡大を図るとともに、除雪行政の理解を深めます。


取組結果	評価
<p>新たに南区内の 9 単位町内会で雪懇談会を実施し、除雪行政への理解促進を図り、地域との協働による新たな除雪の取り組みを図りました。</p> <p>地域内の公共空地(公園・雨水貯留池等)・民間空地を雪置き場として活用しました。</p> <p>区内の小学校の冬期通学路を学校関係者、PTA、地域住民とパトロールし、危険箇所の把握と改善策を協議しました。</p>	 順調です

コロバズボトル(滑り止め用の砂を入れたペットボトル)などの配布を通じて、町内会や学校と協働を行う冬季間の滑り止め防止対策を支援します


取組結果	評価
<p>コロバズボトルを 1,500 本作成し、区役所等施設及びまちづくりセンターで配布しました。また、小学校には砂袋を配布しました。</p> <p>小学校スクールゾーン実行委員会において、通学路の冬季間の安全対策として滑り止め用の砂の有効活用を呼び掛けました。</p>	 順調です

重点取組項目 5 : 「地域みんなで子どもを見守る」活動の展開


「地域安全マップ」づくりを核とした区全体のフォーラムや地域における「地域安全マップ」づくりを支援することにより、活動者間の情報の共有や信頼関係の構築を進めます。

取組結果	評価
<p>石山地区、南沢地区で地域安全マップのフィールドワークとマップづくりを実施しました。</p> <p>石山地区地域安全マップ作成を受け、単位町内会においてフィールドワークとマップづくりを実施しました。</p> <p>区内で発生した事件の情報を関係機関や地域に提供するため、緊急対策連絡会議を開催しました。</p>	 順調です

活動報告会、ワークショップや子どもを含む参加者の交流会等を支援することにより、活動者間の情報共有と信頼関係の構築を進めるとともに新たな活動の担い手の発掘を目指します。


取組結果	評価
<p>藻岩下地区で、こども見守り運動連絡協議会総会を開催し、活動者間の交流を図りました。</p> <p>芸術の森地区のもりの仲間の子どもの見守るネットワーク総会において、緊急通報システムの導入に向け意見交換を行いました。</p> <p>南区育成委員会の全体研修において、南区子ども見守りワークショップを実施しました。また、このワークショップの様子を広報さっぽろ 10 月号南区版で紹介しました。</p> <p>芸術の森地区で、秋の子ども見守り運動を実施し、講演会や見守り活動を行いました。</p> <p>簾舞まちづくり検討会「子どもを見守る運動」分科会の運営、活動を支援しました。</p>	 順調です

大人と子どものコミュニケーションの促進効果を高めるための事業を企画するとともに積極的にこれを支援します。


取組結果	評価
<p>春に区内各小学校で「南区春の児童見守り運動」を実施しました。常盤小学校では北海道日本ハムファイターズのマスコット「B・B」と北海道警察マスコット「ほくとくん」が見守り運動に参加しました。</p> <p>芸術の森地区の 3 小学校の児童を対象とした子ども 110 番の家スタンプラリーの実施にあたり、関係者間の調整や必要物資の提供の支援を行いました。</p> <p>見守り活動団体に腕章やステッカーなどの物資を交付しました。</p> <p>幼児、児童、生徒に係る不審者情報を地域、関係機関に提供する体制を整備しました。</p> <p>来年度 4 月に行う「春の児童見守り運動」に向け、各小学校、各連合町内会、南警察署への協力依頼や、小学校への活動グッズの配布などの支援を行いました。</p> <p>南沢地区町内会連合会に対して、青色回転灯、防犯合図灯などを提供しました。</p>	 順調です

重点取組項目 6：地域の自主防災体制の充実強化


地域の自主的防災活動（D I G（災害図上訓練）やワークショップなど）へ参画し、地域の防災体制検討の積極的支援を行います。

取組結果	評価
<p>D I G研修の講師育成を図るため、8月3名、9月1名の区職員が講習会に参加しました。</p> <p>広報さっぽろ5月号南区版で、藤野地区センターで行われたD I Gを紹介しました。</p> <p>広報さっぽろ7月号南区版で、藤野野外スポーツ交流施設(Fu s)で行われた林野火災訓練を紹介しました。</p> <p>南沢地区の単位町内会においてD I Gを実施し、防災体制を検討しました。</p> <p>真駒内中学校グラウンドで実施された「防災訓練・交通安全キャンペーン」の開催を支援しました。</p> <p>地域住民、各地域団体、真駒内中、真駒内曙などから1,000人を超える参加者があり、南消防署・南警察署等の指導による訓練が行われました。（再掲）</p> <p>積極的に自主防災活動に取り組み、防災意識の向上に寄与している単位町内会の防災組織を表彰するとともに、職員や地域住民がセミナーに参加して防災知識を習得しました。</p>	 順調です

毎年実施している「防災リーダー研修」の研修内容の充実を図り、より実践的な自主防災活動を実施できるリーダーの養成を目指します。

取組結果	評価
<p>参加しやすい場所や日程の工夫をしたほか、気象台職員を外部講師として招き緊急地震速報の講習を行うなど、研修内容の充実を図りました。</p>	 順調です


南区コミュニティエフエムなどを活用した非常時の広報活動体制について、区民への周知を図ります。

取組結果	評価
<p>コミュニティエフエムと取り交わした災害時の24時間放送に関する覚書について、広報さっぽろ4月号南区版及び南区ホームページで紹介しました。</p> <p>南区防災訓練の実施にあわせて、コミュニティエフエムと連携して防災関連の特集番組を放送し、区民の防災意識の向上を図りました。</p>	 順調です


(3) 市民の視点に立った職務の遂行

重点取組項目 1：市民対応力の向上

主に新採用職員を対象とし、各部の業務や区内地域の歴史・風土についての研修を引き続き行うほか、採用2・3年目職員を対象とした研修や自治基本条例に関する研修などを行います。また、業務知識を深めるため、各部課単位で勉強会やミーティング等を行います。

取組結果	評価
<p>業務知識を深める研修を各課で実施したほか、戸籍住民課主催で外部講師を招き接遇研修を実施しました。また、接遇の向上を図るため自己チェックシートを作成し活用しました。</p> <p>新採用職員等を対象に、各部の業務概要、南区の歴史、風土に関する研修会を実施しました。</p> <p>採用1～3年目の職員及び係長職以下の希望者を対象に、市民へのわかりやすい情報提供に必要な「説明力」の向上を目的とした研修を行いました。</p> <p>引き続き来庁者アンケートを実施しました。その結果職員の応接態度「良かった」、「どちらかという良かった」とした割合が計82.2%と昨年を1.9ポイント上回りました。</p>	 順調です


庁舎内の施設整備を行い、来庁者にとって利用しやすい環境づくりを進めます。

取組結果	評価
<p>税務の証明コーナーに、立ったまま記載ができる記載台や背もたれ付の椅子を導入すると共に、レイアウトを変更し来庁者の利便性の向上を図りました。また、証明コーナーの案内表示を来庁者にとって分かりやすくなるよう変更しました。</p> <p>保健福祉課の一部及び保険年金課の全窓口に来庁目的別受付自動発券機を導入し、窓口案内の円滑化を図るとともに、案内表示も大きく分かりやすいものとし、来庁者の利便性向上を図りました。</p> <p>戸籍住民課では、プライバシー配慮のための面接コーナー及び窓口カウンターの仕切板設置などを行いました。また、受付番号表示機の文字を拡大し、これまでよりも見やすいものに交換しました。</p>	<p align="center">  順調です </p>


重点取組項目 2：市税及び国民健康保険料の収入率の向上等

【市税】


課税対象の完全な把握と適正な課税事務に努めます。

取組結果	評価
<p>返戻納税通知書に関し、転居先住所等の調査を行い、課税保留の減少に努めました。</p> <p>税源移譲に伴う税率の変更等を周知するため、区民センターにおけるパネル展示、コミュニティエフエムへの職員出演など広報活動を積極的に行いました。</p> <p>確定申告書の有無や記載内容について納税通知書発送前に集中的に確認を行いました。</p> <p>未申告者に対する所得調査及び扶養控除の適正化を図るため、遠隔地扶養調査を実施しました。</p> <p>償却資産未申告者に対する実地調査を行いました。</p>	<p align="center">  順調です </p>

厳正な滞納整理を実施します。


取組結果	評価
<p>計 594 件約 151,916 千円の差押等を執行しました。</p> <p>8 月から毎月最終日曜日を中心に休日納付相談を計 9 回実施しました。</p> <p>動産（絵画）のインターネット公売や不動産公売を行いました。</p>	<p align="center">  順調です </p>

さまざまな媒体を活用するなど、きめ細かなPRを通じて、口座振替を推進します。


取組結果	評価
<p>昨年に引き続き、区役所内の各所にポスターを掲示したほか、チラシを納税相談等窓口・証明窓口に備え付け周知を図りました。</p> <p>区職員を対象に、固定資産税の口座振替加入の勧奨を行いました。</p> <p>啓発品を税証明カウンターと固定資産税の受付カウンター、1階広聴窓口において配布しました。</p> <p>区役所に懸垂幕を掲げ、口座振替のPRを図りました。</p> <p>3月末までの口座振替利用実績</p> <p> 口座振替加入率 36.31%（対前年度比0.52ポイント増）</p> <p> 口座振替件数 116,190件（対前年度比2.08%増）</p>	<p align="center">  順調です </p>

【国民健康保険料】


保険料の口座加入促進と保険サービス員の集金により滞納未然防止に努めます。




取組結果	評価
<p>訪問・電話による直接折衝や短期証窓口交付の実施などにより、収納率は3月末時点で89.49%と前年同月比1.32ポイント増となりました。</p> <p>国保加入時などに口座振替加入の促進を行った結果、2月末の口座加入率67.04%と前年同月比2.14ポイント増となりました。</p> <p>保険サービス員の集金による滞納の防止に努めており、3月までの集金額は約133,130,000円と前年同月に比べ5.4%増加しています。</p>	 絶好調

窓口の短期保険証交付及び電話・外勤督励等により滞納者との折衝機会を確保します。

取組結果	評価
<p>5月、8月、11月、2月に短期保険証の窓口交付を計2,144件（前年+841件）実施しました。</p> <p>4月から3月に滞納世帯等への訪問を47,919件実施しました。また、電話による催告も計18,734件実施しました。</p> <p>毎月1回行なっている休日納付相談を、10月と12月については2回ずつ実施しました。</p>	 順調です

滞納者の状況を的確に把握し、滞納処分を視野にいれた折衝の強化を図ります。

取組結果	評価
<p>再三の催告に応じない世帯に対する預貯金・生命保険等の財産調査を計459件実施しました。</p> <p>滞納処分（交付要求）を9月1件49,980円、10月1件412,866円、2月1件817,090円実施しました。</p>	 順調です

評価	個数
 絶好調	5
 順調です	35
 がんばります	0